

中間評価調書

整理番号	8	研究課題名	茨城県産魚類における吸虫メタセルカリアの寄生状況
研究概要	<p>茨城県産の淡水および汽水魚類に寄生する、吸虫の寄生状況について調査を行うとともに分離された寄生虫の形態について観察を行う。</p>		
進捗状況	<p>霞ヶ浦および北浦産シラウオにおける横川吸虫の寄生状況について調査を行うとともに分離された寄生虫の形態について観察を行った。</p>		
研究の成果	<p>2000年7月より平成2002年2月までの期間(禁猟時期を除く)、霞ヶ浦および北浦産シラウオにおける横川吸虫メタセルカリアの寄生状況を調査した結果、いずれのシラウオからも横川吸虫メタセルカリアが検出された。月別の感染率は北浦産56.0-100.0%、霞ヶ浦産0-82.0%と北浦産の方が高率に感染していた。また、メタセルカリア数は1匹のシラウオ当たり最大282であった。</p> <p>なお、霞ヶ浦及び北浦産シラウオについては、水産関係団体等に対し、出荷に際しては「加熱用」の表示をして販売する等の指導を行い、シラウオの生食による健康被害の発生防止を図っている。</p>		
今後の計画	<p>分離された横川吸虫メタセルカリアを実験動物に感染させ、宿主に対する病原性を調査する。寄生虫の発育段階における形態について調査を行う。</p>		